

平成18年11月9日

各位

会社名 株式会社LTTバイオフーマ
代表者名 代表取締役会長兼社長 水島裕
(コード番号:4566)
問合せ先 執行役員経営管理本部長 渡部良夫
(TEL. 03-5733-7391)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成18年9月中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)の連結及び単体業績予想(平成18年5月25日公表)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、平成19年3月期の連結及び単体業績予想につきましては現在精査中であり、平成18年11月21日に予定しております中間期の決算発表において公表する予定です。

記

1、平成18年9月中間期 業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(1) 連結 (百万円未満切捨)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	660	△306	△306
今回発表予想(B)	628	△501	△471
増減額(B-A)	△32	△195	△165
増減率(%)	△4.8	—	—

(2) 単体 (百万円未満切捨)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	142	△188	△188
今回発表予想(B)	102	△331	△358
増減額(B-A)	△40	△143	△170
増減率(%)	△28.2	—	—
前期実績(17年9月期)	148	△205	△195

(注) 業績予想につきましては、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものです。従いまして、平成18年11月21日の発表予定の業績は、これらの数値と異なる場合があります。

2、 修正理由

連結業績につきましては、調剤薬局事業において、売上が予算比+8百万円となった一方、下期に計上される仕入薬価の減額修正を予算上通期に平均して計上していたために、売上原価に予算比△26百万円の差異が発生しています。この売上原価差異につきましては、通期で解消されるものであります。

持分法適用会社であります北京泰徳製薬有限公司については、中間利益の減少により持分法投資利益が減少した反面、税効果会計を適用したことによる法人税等調整額の戻りを計上した結果、予算比+24百万円となりました。

同じく持分法適用会社である株式会社 I&L Anti-Aging Management については、中間利益が予算比△2百万円となりました。

単体業績につきましては、売上高が予算比△40百万円となっておりますが、このうちナルチノール(オバジパーフェクトリフトAA)に関する契約金 25百万円につきましては、下期に計上できる見込みです。

研究開発費については、PC-SODに関する治験費用を症例集積が早期に終了したため、下期予算計上分費用を 65百万円前倒計上しておりますが、通期で解消されるものです。また、固定資産及びリース資産につきまして、減損損失を 26百万円計上しております。

以上